

1 明治革命

- 1) 戊辰戦争 (1868. 1~1869. 5) 長期化 68.1 鳥羽伏見の戦、68.4 倒幕軍江戸入城
68. 2 仏公使ロッシュ慶喜に再起を促す 1 68.4 慶喜水戸へ退去、関東・東北鎮将府
68.3~5 上野彰義隊 (天野八郎)、輪王寺宮公現法親王仙台に逃れる
68.5 奥羽越列藩同盟 (25+8 藩) 68.7 河井継之助長岡城を奪回
68.8 榎本武揚 艦船 8 隻で江戸から脱走、 68.8、会津降伏
68.12 榎本武揚 蝦夷地平定 69.5 武揚、五稜郭にて降伏
58.4 キリスト教解禁、68.4 切支丹邪宗門の禁止、73.2 切支丹禁制の高札除去、
- 2) 68.1 新政府官制 (3 職、太政官 7 科)、68.2 (3 職 8 局)
68.1 大久保、大阪遷都を提案 68.3 天皇大阪行幸 (40 日間滞在)

2 東京奠都

- 1) 前島密の『東京遷都論』 費用がからない、江戸の活用
- 2) 江藤新平, 大木喬任 東西二京論
- 3) 木戸孝允 京都=帝都 大阪=西京 江戸=東京 各京巡行
- 4)

3 天皇東幸 68.9 (68. 11.4) 東幸のために京都出発 10.13 東京着、

- 1) 江戸を東京と改称 68.9 明治と改元 68, 10 神秘的権威+天盃頂戴
- 2) 氷川神社参拝、 泉岳寺・日枝神社・神田明神・富岡八幡・根津神社へ勅使
神田明神の祭神変更 平将門 ⇒ 大己貴命, 少彦名命
- 3) 江戸城を東京城と改称 12 京都に帰る
- 4) 69.2 天皇東京滞在中は太政官を東京に移す達
69.3 天皇再度東京へ向かう 太政官を東京へ移す (69. 3.27) 天皇着 (69. 3.27)
京都は留守官 (71.10 まで) 皇后は京都、10 東京行啓

- 5) ^東京奠都の推進者 大久保利通・木戸孝允 奥羽越連判同盟、榎本武揚
71. 7.14 廃藩置県 中央集権機構を取り易い

3 山の手の衰退と桑茶政策

- 1) 大名屋敷・旗本屋敷を収容
- 2) 輸出産業としての桑・茶の栽培 払い下げ・貸付 (大木知事の発案)
- 3) 青山 15 万 9 坪、小石川 13 万 9 千坪、千駄ヶ谷 10 万坪、駒込 9 万 4 千坪、
雑司が谷 9 万 2 千坪、白金 4 万坪、麴町 3 万 6 千坪、上渋谷 2 万千坪

- 4) 91.8 桑茶政策取り止め 300 万坪予定の 1 / 3

4 東京の人口

- 1) 東京府の人口 1869 50 万 3 千人 1877 91 万 4 千人 1878 105 万 7 千人
- 2) 旧江戸の範囲の人口 (旧東京市) 100 万超は 1986

近代日本の都市政策（明治から第二次大戦まで）

50	東京奠都・桑茶政策	08/02
51	中央集権体制の確立——廃藩置県・戸籍法	08/03
52	銀座煉瓦街計画	08/04
53	中央官庁街計画	08/05
54	東京市区改正条例	08/06
55	市制・町村制と大都市特例	08/07
56	都心の心臓作り	08/09
57	日本の下層社会　スラムの発生	08/10
58	森鷗外、夏目漱石、幸田露伴、永井荷風	08/11
59	内務省と田園都市	08/12
60	都市公園の誕生	09/02
61	都市計画法・市街地建築物法の成立	09/03
62	後藤新平の構想	09/04
63	関一の都市思想	09/05
64	関東大震災と復興	09/06
65	都市美協会	09/07
66	山手線と山の手	09/09
67	地下鉄・都市内交通・市街電車	09/10
68	盛り場の形成	09/11
68 9	大都市問題	09/12
70 7	大東京市の成立	10/02
71 8	東京都制	10/03
70 2	防空思想と都市	10/04